GOH KUROSAWA (黒沢豪) の音樂は、日本とヨーロッパそしてアメリカの異文化を自然に融合させた音の結晶。日本生まれの日本育ちで、日本語と英語の完璧なバイリンガルであるのを武器に、ロサンゼルスを拠点としてアメリカ西海岸全域で音楽活動・作曲と編曲・音楽教育・通訳活動、そして音楽大学等でのゲスト講演やミュージックセミナーに励んでいる。

2006 年にグローバル･インスト･トリオ SHARP THREE (シャープ・スリー) のリーダーとしてアルバム「無」を発表、2007 年にソロギターアルバム「ひとり」を完成。発売をきっかけにアメリカの Guitar Player Magazine、イギリスの Acoustic Magazine などで、多彩なギター･ソリスト、バンド･リーダーとして注目を集め始める。これまでに通算 10 枚以上の CD や DVD に参加。

2009 年 10 月、ロサンゼルスの Asian American Music Festival に出演し、公演レビューは米国 Downbeat Magazine に掲載。また同年 8 月にはテネシー州ナッシュビルで開かれた JPF 音楽アワードで、オリジナル曲「ひとり」が Solo Guitar 部門にノミネートされ Top 6 入賞。この JPF 音楽セレモニーは世界 163 カ国から 560,000 曲以上の応募があった音楽史上最大規模のイベント。

GOH (豪) の特筆すべき強みのひとつは、色彩豊かなソロギター奏法で、それはメロディー・ドラム・ベース・DJ・琴も入ったフルバンドを思わせる。ステージ上であろうとレコーディングルームであろうと同じ。さらに、長い歴史のあるフラメンコに 10 年以上興味を持ち続け、フラメンコの最強で史上最も“熱い”12/8 拍子「ブレリア」をレパートリーに加えることに成功。

SHARP THREE のクリニックでは、インプロを伝統として確立しているフォーク・ジャズ・ロックなどのジャンルのみならず、変拍子や日本・アジアの音階を交えた即興法と作曲法を指導。ソロセミナーではギター奏法に重点を置く。さらに日本国内では、不定期にミュージシャンのための“本場ストリート英語教室”を考案。

高校時代の三年間、前橋高校ギター・マンドリン部に所属し、地域のマンドリン・フェスティバルで指揮を讃えられ、特別指揮者賞を新設させた。卒業後、セントルイスのワシントン大学で学ぶため渡米。そしてカリフォルニア芸術大学大学院時代には、バルカン音楽と出会い、またジャズの巨匠でありグラミー賞獲得のチャーリー・ヘイデンに師事・共演。

東日本大震災直後 2011 年 3 月 19 日にはロサンゼルスのリトル東京で合計 20 組のアーチスト、ロンドン国際ジャズフェス優勝者のモン・ダビ、天才ギタリストのミロスラブ・タデッチ、Manhattan Transfer のアラン・ポールなどをブッキングした東日本支援イベント、「L.A. Musical Artists Uniting to HELP JAPAN」(YouTube にて字幕版ドキュメンタリー発信中) を主催。

いままでにカナダ・フランス・大韓民国・メキシコ・台湾・ブラジルでもツアー経験あり。このほか、山田マサキ(ラウドネス, EZO 等)、ケリー・アリー(Linkin'Park, Marilyn Manson 等)、ジョン・バルガモ(Frank Zappa, John McLaughlin's Shakti, Hands On'Semble 等)、トマス・リーブ、上原ヒロミ、ロランド・ディアンズ、KUROSAWA BROTHERS などと共演やコラボを行っている。

www.happysad.org/goh

“GOH (豪)はクラシックとフラメンコにフォークとロックを加え、さらに
アジアの音がみごとに溶け込んだ音楽の和魂洋才! ”

Minor7th.com

“繊細かつ美しいメロディーから噛み付くような激しい爆発を操る
ダイナミックな豪．．．常識は完全に砕かれる! ”

Dave Edwards (Live Music Alliance)

“ギタリスト豪はナイロンのフラメンコから、マハヴィシュヌ・
オーケストラのようなエレキまでも含めたすばらしい演奏を披露した。
全く異なる二つの演奏を一つにまとめる恐ろしいほどのコンサート! ”

Downbeat Magazine (米国)

“こいつはやばい．．．豪の演奏は見逃せない。”

Jack Miller (Antelope Valley Guitar Society)

“ギターが望んでいた弾かれかた．．．豪はそれを見つけた! ”

Cheri (ファンメールより)

“完全な勝利! ”

Acoustic Magazine (英国)

“幅広い音楽、オーケストラのようなユニークな演奏法、非常に深く色鮮やか．．．
豪の Sharp Three は近代のトリオのトップにたつすばらしいバンド!”

Drum.com

“みごとなＣＤ!”

Guitar Player Magazine (米国)